平成18年 成人式

587人が大人の仲間入り

1月3日、ルネッサながとで平成18年成人式が行われ、新成人435人（対象者587人）が出席しました。

式典では、松林市長が「おめでとうございます。成人式は大人に成長していく過程の通過点です。この日を節目として、若々しい情熱と無限の可能性で素晴らしい『自分探しの旅』を続けてください」とあいさつ。新成人を代表して椋木勇気さん（宗頭）が記念品を受け取り「ありがとうございました。大人としての常識を身につけ、一杯努力してまいります」とお礼を述べました。「二十歳の声」として末永友美さん（渋木2区）が新成人としての決意を述べました。

式典後のアトラクションでは、和太鼓オーケストラ「翔門」が門出の演奏を披露し、地区別の記念撮影も行われました。

西深川・深川湯本・渋木・真木地区

祝長門市成人式

仙崎地区

祝長門市成人式

東深川地区

祝長門市成人式

油谷地区

祝長門市成人式

二十歳の声

新成人代表　末永　友美

今日の成人式は、長門市、三隅町、日置町、油谷町が合併して最初の記念すべき成人式です。今は、小学校や中学校、高校とそれぞれで出会った友と久々に再会し、とても懐かしい気持ちになっています。しかし、今年は私にとって成人を迎えた嬉しい年でもありますが、少し寂しい年でもあります。

それは皆さんもご存じだとは思いますが、この春に私の母校である大畑分校が本校と統合されます。大畑分校は今ではとても人数が少ない学校です。私の父の年代は同級生が30人前後いましたが、私の同級生は男子が7人、女子が2人の9人しかいません。そのことを言うと大抵の方が驚かれますが私はそのことを恥じたことはありません。広い教室に先生の教壇と9つの机といす。それしかありませんが笑い声が絶えた日はありませんでした。体育祭、文化祭の行事や部活動などみんなで喜んだこと、泣いたこと、友と協力し共に励まし合ったことなどとても良い思い出です。これらは自分をここまで成長させてくれた大切な財産です。

しかし、このような気持ちは今となって初めて実感したものです。私は高校を卒業し、長門を出て今は、広島市で働いています。家族や友達と離れ、一人になったとき初めていろいろな人の温かさに支えられて生きていることを実感しました。仕事などで辛いことがあったりすると、仕事を辞めてみんながいる長門に帰りたいと何度も何度も思いました。

けれども、たまに実家に帰り友達に会うと夢に向かって頑張っている友達、フリーターだけどこのままではいけないと将来の不安に悩んでいる友達、学生の頃バカなことをしてみんなを笑わせていたひょうきんな友達が真剣に家庭を持ちたいと考えているなど、そんな友達を見ていると「私も頑張らないと」と帰る度に励まされ今も頑張って働いています。

二十歳になったからといって急に何かが変わるわけではありません。楽しかった十代が終わることで少し寂しい気持ちもしますが、二十歳という節目を迎え、私たちの成長をここまで見守ってくださった家族をはじめたくさんの方に感謝をし、そしてまた新たな気持ちで再び歩き始めたいと思います。そして今まで培ってきた人間関係や気持ちをさらに大切にして努力していきます。

祝長門市成人式

通・俵山地区

祝長門市成人式

日置地区

祝長門市成人式

三隅地区